

ポーランド・グダンスク現地セミナー開催

JICC はポーランド政府エネルギー省(MoE)との共催で 2025 年 9 月 25日にポーランド・グダンスクの連帯博物館(European Solidarity Centre)のホールで現地セミナーを開催した。

【経緯/目的】;

ポーランドの原子力発電における基盤整備のための国際協力事業として、ポーランド政府 MoE と協議の上、「緊急時の備えと対策」をテーマにポーランド・グダンスクで現地セミナーを開催した。

【実施内容】;

セミナーには両国の専門家約 40 名の参加があった。ポーランド政府 MoE が声をかけたポーランド政府内務省(MoI)、ポーランド規制当局(PAA)、ポーランド原子力発電事業会社(PEJ)、並びにポメラニアンの地元消防隊などのステークホルダーによる、各々の視点からの「緊急時の備えと対策」についての発表があった。日本側からは METI 資源エネルギー庁、緊急時対応訓練設備を有する JAEA/NEAT、日本の原子力発電所が立地する福井県庁からの講演、両国の専門家によるパネルディスカッションにより前向きな意見交換が行われた。

【成 果】;

駐ポーランド日本大使館 河野特命全権大使、ポーランド最初の原子力発電所立地のポメラニアン州知事 Ms. Beata Katarzyna Rutkiewicz に開催の挨拶をいただくと共に、ポーランドと日本の両国の専門家による「緊急時の備えと対策」の発表と有意義な情報交換を通して、両国の原子力発電分野における良好な関係維持に繋がった。

セミナー風景

